

一般質問

6議員が提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



一般質問事項

質問者	件名	頁
廣野 房男	1 財源確保に全力で企業誘致を 2 里山整備に竹林駆除の補助を	7
都築 幸夫	1 菱池遊水地利用をどうするのか 2 安全安心な自転車利用の町に	8
水野千代子	1 3歳児健診で屈折検査の導入を 2 eスポーツ活用でフレイル予防	9
丸山千代子	1 長嶺福祉医療ゾーンは見直しを 2 不育症治療費助成制度創設を 3 町職員の働き方・健康確保を	10
伊澤 伸一	1 長嶺開発構想は一時凍結すべき 2 持続可能な移手段の確立を	11
田境 毅	1 次世代自動車の普及啓発活動を 2 充電設備設置のアクションを	12

質問者、答弁者それぞれ30分以内の制限時間。

今回、地域の活動が議会で諮られる事聞き、傍聴する機会を得ました。傍聴席には10人以上いて、関心の高さが窺えました。質疑応答では地域の事案だけでなく、町政に関する事も取り上げ



なかにし まさとし
中西 雅俊さん

豊かで幸せな町づくり

られ、「この町に住んで良かった」町づくりが、議会の場で真摯に討議されている事を痛感すると共に、町と地域がしっかりと繋がって一体となり取り組む事が幸田町の発展に如何に大切かを知りました。コロナ禍の中で、大変な町政活動を担っている事と思いますが、町民の礎となり豊かから期待しています。

議会日よりでは、質問と答弁を要約してお伝えします。詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、幸田町議会ホームページでも公開しています。また、議会の映像はYouTubeで配信しています。

議事録



議会映像





ひろの ぶさお 廣野 房男 議員

財源確保に全力で企業誘致を

企業立地促進に優遇制度も検討



幸田町は緑豊かで環境も良く、住みやすい町として内外から評価されている。しかし最近の歳入の減少が心配だ。歳入の増収策を問う。

問 交付団体と不交付団体の定義は。

答 企画部長▼財政力指数が1・0を上回ると、地方交付税の不交付団体となる。

問 不交付団体のメリット、デメリットは。

答 メリットは独自の施策が行い易い。デメリットは交付税による措置が受けられない。

問 交付・不交付を決める公式に入力する数値に変化はないか。

答 幼児教育・保育の無償化の地方負担とか、デジタル化に対する経費などが、算定

項目に加えられたように、毎年度、国で作成する地方財政計画により、変遷している。

問 不交付団体になるまで頑張ってきた時の政策と、それを維持している要因は。

答 土地区画整理事業や工場団地造成など、市街地開発事業の取り組み。計画的なまちづくりで、確固たる税収を獲得できたこと。

問 法人町民税とふるさと寄附金の増収策はあるか。

答 税務担当参事▼企業誘致が税収全体の増になる。企画部長▼返礼品を充実させるため、地場産品の発掘に努めている。

問 直近3か年の企業誘致の状況は。

答 直近3か年の企業誘致の状況は。

答 企画部長▼4企業が新設、4企業が増設している。

問 近隣市町より地価が安いなどの利点を活かし、財源確保に全力で企業誘致を。

答 再投資費用の一部を支援している。企業立地促進に向けた優遇制度も検討。

里山整備に竹林駆除の補助を

近隣市町を調査し検討していく

幸田町の魅力発信の一つとして、「六栗西山の森の道」整備活動の支援を求める。

問 ロケタリリズムの題材として、森の道整備活動はどうか。

答 経済環境部長▼ドรามマや物語の題材としては良い。



竹林駆除に活躍する粉砕機

問 六栗西山の林道の線形調査は進んでいるのか。

答 令和4年2月末までに完了。

問 単町事業なのに2月の未了とは遅くないか。

答 時間をかけて、調整している。

問 民地で出た草木は、届け出しても野外での焼却は禁止か。

答 野焼きは例外的に認められているも

の以外は原則禁止。

問 竹林の駆除をするため、粉砕機の貸し出しや、購入する際の補助金の助成を。

答 利用の頻度など必要性を調査。購入は研究していく。

問 里山、森林の保全と、竹林駆除に対する町長の見解を問う。

答 町長▼近隣自治体を調査し、有害竹林の駆除、補助金の使い方を検討していく。